放課後等デイサービス

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和　６　年　３　月　３１　日

事業所名 児童デイサービス もしもし

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員の配置数は適切であるか	○			支援に必要な人員配置ですが、来年度はさらにスタッフを増やし支援を厚くしていきます。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			トイレ前にのみ段差がありますが、それ以外の場所はフラットに作られています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			月に１回以上会議の時間を設け、支援を振り返ると共に問題点や改善点等をしっかりと話し合っています。支援方針に沿った子どもへの対応を統一することを目的に、周知事項は連絡ノートに書いてスタッフ間で情報を共有しています。特に必要なことは、全員が毎日確認できる場所に掲示しています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥	この自己評価の結果を、 事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		センターの方の訪問を受け、ご指導いただいています。第三者評価については今後必要に応じて実施していきます。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			契約の際に、標準化されたニーズ把握シートの提出を保護者様にお願いしています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			チームではありませんが、プログラムを担当するスタッフが決まっており、担当者を中心に角スタッフもサポートしながら作成しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			運動・英語・集団活動・工作・ダンス等、毎日変わるプログラムにはそれぞれ担当者がおり、発案されたものを数名でチェックをしてから実行しています。様々な分野に挑戦してもらい、児童一人ひとりの得意なことや可能性を見出すことを目的としています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			利用児童の発達に応じた課題やプリントを、スタッフの話し合いの元決定し提供しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			放課後等デイサービス計画書は、全スタッフの話し合いによって作成しています。年に２回以上見直しのための会議が行われ、子どもの成長に合わせて支援内容の変更を行っています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか	○			終礼を設けてはいませんが、療育後にスタッフ間で話をし、その日の支援や活動を振り返ると共に反省と情報の共有をしています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日必ず個別の記録を取っています。会議の際や療育過程の節目などに見直し、支援の改善点を話し合っています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			６ヶ月ごと、あるいは必要時に、会議により振り返り・見直し・変更が行われています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		現在はまで参加の実績はありませんが、必要がある時には参加します。
	㉑	学校との情報共有 （年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			保護者様の希望が会った際に、学校とケース会議を行っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在医療ケアが必要な児童の利用はありませんが、利用のある場合は医療機関と連絡を取り連携していきます。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		先生と話をさせていただいたり、事業所に見学に来られた際にも情報の共有をしています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		現在未実施ですが、丁寧な移行支援を提供します。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			正職員全員が定例研修に参加しています。また、定期的にセンターの方にお越しいただき、ご意見やアドバイスをいただいています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○		未実施ではありますが、今後祭日等に、障害のない子どもも参加できる工作教室を開きたいと考えています。児童館に送迎のある児童については、その日の児童の様子等を話して情報を共有しています。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○		今後参加させていただきたいと考えています。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時にその日の様子や変化を必ず保護者様に伝えています。また、同内容を連絡ノートに記載し伝えています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っているか	○			今年度の３月に保護者面談を行いました。ペアレント・トレーニング等は、面談と合わせて実施しています。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時すべてに目を通していただき、必要な箇所は説明をしています。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			送迎時に保護者様とお話をしています。また連絡ノートの中に悩みや相談があれば応じた返答をし、必要な時には保護者様へ連絡もしています。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			１２月にクリスマス会を実施し、保護者同士がお顔を合わせる機会を設けています。茶話会も実施されましたが、利用者が幼児である保護者様に限らせて行わせていただきました。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			現在までに苦情はいただいていませんが、苦情のあった際は適切に対応します。
	㉞	定期的に会報等を発行し、 活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			会報は作成していませんが、利用希望カレンダーの中で保護者様は活動や行事の内容を把握することができます。また、ホームページにその日の活動風景や内容を載せています。ホームページを閲覧することで、活動内容や普段のお子様の様子を知ることができます。https://www.moshimoshisapporo.com/blog
	㉟	個人情報に十分注意しているか	○			
	㊱	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			現在、意思の疎通に配慮の必要な児童は在籍していませんが、必要時にはスタッフ個々人が配慮のある対応をします。
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	
非常時等の対応	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等の用意があり、契約時にご説明しています。スタッフはそれらに目を通しています。
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に２回避難訓練を実施し、消防署へ報告しています。
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			日々確認し合うと同時に、定期ミーティングでも全スタッフに向けて話をしています。
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、 放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			現在身体拘束の必要がある児童の利用はありませんが、利用のある場合は放課後等デイサービス計画書に記載します。
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			現在アレルギーのある児童の利用はありませんが、利用のある場合は最善の注意を払って対応します。
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットのあるたびに記録して共有しています。

◎　この「事業所における自己評価結果 （公表） 」は、事業所全体で行った自己評価です。